

33 飼料備蓄・増産流通合理化事業

令和9年度予算概算要求額 1,798百万円（前年度 1,761百万円）

＜対策のポイント＞

飼料生産基盤に立脚した持続的な畜産経営の推進に向けて、国産飼料の生産・利用拡大を図るため、**飼料生産組織の人材確保・育成、国産濃厚飼料の生産・利用の推進、生産性の高い持続可能な飼料産地の形成**の取組を支援します。また、飼料の安定供給を図るため、**飼料穀物の備蓄や飼料輸送の効率化の実証等**の取組を支援します。

＜事業目標＞

- 飼料自給率の向上（27%〔令和5年度〕→28%〔令和12年度まで〕）
- 畜産農家への安定的な配合飼料の供給

＜事業の内容＞

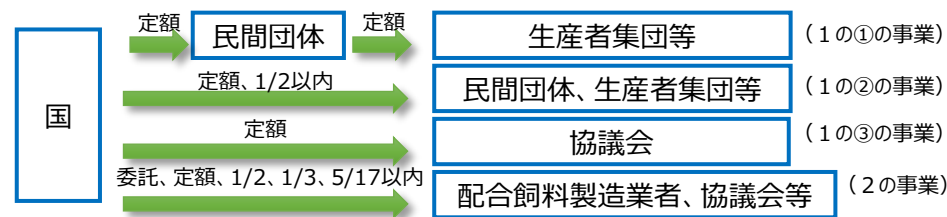
1. 国産飼料増産対策事業

- ① 飼料生産組織の人材確保・育成等支援
オペレーター確保のための**採用活動**、飼料生産に必要な**大型特殊免許**や**技術資格の取得**、**OJT研修**、スキル向上に資する研修の開催等を支援します。
- ② 国産濃厚飼料生産の推進
子実用とうもろこし等の国内生産・利用を推進するための**生産技術実証・普及等**の取組を支援します。
- ③ 生産性の高い持続可能な飼料産地形成促進
都道府県を範囲とする**生産性の高い持続可能な飼料産地形成**に向けた生産・利用の連携体制の構築・強化に係る**検討会開催等**の取組を支援します。

2. 飼料穀物備蓄・流通合理化事業

- ① 飼料穀物備蓄
不測の事態に備えて、配合飼料製造業者等が実施する**飼料穀物・飼料作物種子の備蓄**、**緊急運搬**、関係者間の**連携体制の強化**の取組に対する支援や、**輸入先国の多様化を図るための現地調査等**を実施します。
- ② 飼料流通合理化
飼料輸送の効率化に資する実証等の取組を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 国産飼料増産対策事業

① 飼料生産組織の人材確保・育成等支援 ② 国産濃厚飼料生産の推進

各組織での人材確保・育成の取組

- ・就職説明会への参加
- ・OJT研修の実施
- ・免許取得 等

研修の開催等

- ・飼料生産に係るスキルを習得するための研修等

子実用とうもろこし 未利用資源

・子実用とうもろこし等の生産技術の実証・普及

・未利用資源等の利用技術の実証・普及

③ 生産性の高い持続可能な飼料産地形成促進

検討会の開催

・専門家の招聘

・先進地調査 等

持続可能な飼料産地形成に向けた生産・利用の連携体制の構築・強化を促進

飼料生産組織の運営強化

2. 飼料穀物備蓄・流通合理化事業

① 飼料穀物備蓄

- 飼料穀物等の備蓄（定額、1/3、5/17以内）
配合飼料製造業者等が実施する飼料穀物等の備蓄の取組を支援
- 配合飼料の緊急運搬（定額、1/2以内）
国内の災害時等に、配合飼料供給困難地域への緊急運搬を支援
- 関係者間の連携体制の強化や輸入の多様化の検討（定額、委託）
関係者の連携体制強化への支援や輸入先国の多様化に向けた現地調査等を実施

② 飼料流通合理化

- 飼料輸送の効率化実証（定額、1/2以内）
センサーやタンク蓋開閉装置等を用いた飼料の在庫・配送管理等の効率化実証等の取組を支援

大型ハリケーン等の不測の事態

備蓄支援

緊急運搬支援

環境整備支援

IoT機器による在庫管理

モーターシフト

事業再編に向けた調査

【お問い合わせ先】 （1の事業） 畜産局飼料課 （03-6744-7192）
（2の事業） 飼料課 （03-3591-6745）